

おだがいさま

odagaisama

第 42 号
平成 24 年
9月15日発行

棋楽会と対局 小学生が「王手!!!」

囲碁・将棋サークル「棋楽会」は、毎週月曜日から金曜日の午後、鶴岡老人福祉センターで活動しています。

会場となっている鶴岡老人福祉センターでは、夏休み中の小学生にも施設の一部を開放し、「棋楽会」との交流を楽しんでもらいました。期間中延べ12名の小学生の参加があり、中には、将棋を習いに毎日来てくれた男の子もいました。老人福祉センターを利用していた皆さんも、対局を見守ったり、応援したりしながら、暑い夏の一日を子ども達と一緒に過ごしていました。

今後も高齢者と子ども達との世代間交流を企画していきますので、小学生の皆さん！また来ての～！

います。

鶴岡市社会福祉協議会(略して市社協)では、誰もが安心して暮らし続けることのできる「おだがいさまのまちづくり」を目指し、住民の方々と連携・協働した、地域福祉の推進に努めています。

今回は、9月1日「防災の日」にちなんで、災害や緊急事態など「もしもの時」に備えた活動を紹介します。

やってみて見えることがある

「災害マップ作成」と「避難所体験プログラム」

能登半島地震(平成19年3月)の支援をきっかけに、市社協では「住民ができる防災対策」として次のような事業に取り組んでいます。

「災害マップ作成」

能登半島地震で大きな被害を受けた門前町では、「要援護者マップ(別名:災害マップ)」の存在により、地震発生後4時間という短時間で住民の安否確認を行うことができました。これをうけ、平成20年から鶴岡市内の「災害マップ作成」に着手し、以来今日まで17地域でマップが作成され、地域の見守り事業や防災訓練等に活用されてきました。今年度は、過去に作成したマップの検証も予定しています。



災害マップ作成会議



大山山の手町内会
災害マップ

「避難所体験プログラム」

鶴岡市には多くの避難所が指定されていますが、平時に住民が避難所について検証する機会は少ないのではないのでしょうか。

市社協では、NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワークと共催で平成22年度から「避難所体験プログラム」を企画、実施しています。このプログラムは、避難所に指定されている公共施設に住民

が宿泊し避難所体験を行うもので、過去の災害を教訓に、想定される様々な状況を再現し体験する内容となっています。住民が災害や防災について学ぶ機会とするだけでなく、避難所として使用する上での課題を見出すことも目的としています。これまで、大泉地区と湯田川地区、黄金地区で実施しました。



夕食づくり



大泉地区での様子

「住民ができる防災対策」は、誰もが安心して暮らし続けることのできるまちづくりの一環でもあり、その一助として、市社協では「災害マップ作成」「避難所体験プログラム」を住民の方々と一緒に企画、実施していきたいと考えています。

「災害は忘れたころにやってくる」この言葉を頭の片隅にいつまでも残し、地域で「もしもの時」の取り組みをはじめてみましょう。

問合せ 鶴岡市ボランティアセンター ☎23-2970

『もしも…』のために、 今できる活動が始まって

誰もが安心して暮らし続けるために

「安心カード(緊急連絡カード)」の取り組みが、各地域で進められています。なかでも、櫛引地域と羽黒地域は、消防署と情報を共有した点でその取り組みが注目されており、連携の動きは他地域にも広がりを見せています。

安心カード(緊急連絡カード)とは

救急搬送や災害時などに、必要な情報がより正確に伝えられるよう、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等を対象に、かかりつけ医や服用中の薬・緊急連絡先等を記入したカードを自宅に設置する取り組みです。

迅速な救助が可能になるだけでなく、日常の見守り活動強化にもつながる取り組みとしてカードが活用されています。

※地域によってカードの名称や実施方法に違いがあります。

1分も無駄にできない救急現場で、このようなカードがあれば、会話ができない事態でも必要な情報が得られ、スムーズな救助に役立ちます。



鶴岡市消防本部
齋藤雅司・救急救命士 三浦 智・救急救命士

消防署へおじゃましました！通報から現場までのながれ



「119」番通報の電話は消防本部通信指令課につながります。大型の地図画面に通報者の位置情報が表示されます。



消防本部の地図画面には、カード設置世帯であれば赤で「安心」の文字が表示されます。



救急車輻にも同様の画面が搭載され、救急隊員はカード設置の有無を事前に把握しながら現場に向かうことができます。



現場状況に応じて、対象者の**自宅に設置されたカード※①②**を活用します。救助に必要な情報を得ることができます。

※このような連携を図るためには、事前にカード設置者の名簿を提出する必要があります。

櫛引地域と羽黒地域の活動を一部ご紹介

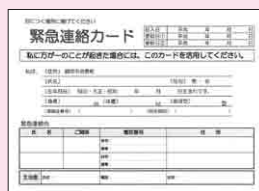
櫛引地域「くしびき安心カード」

櫛引地域では、自治会区長、民生児童委員、保健福祉推進員が中心となって、平成23年9月より、「安心カード」の配置に取り組んでいます。

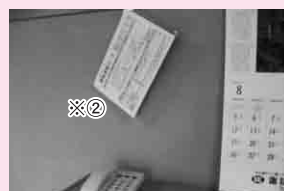


現在482名(H24.7.13現在)の世帯に設置しています。【くしびき安心カード】は、筒状のケースに、必要事項を記入したカードを入れ、冷蔵庫に保管するものです。緊急連絡先を近所の方々にお願いしたことで「医者さ行ったようだけど、薬変わらねっけが?」「もしもの時はよろしく頼むの。」などと声を掛け合うことが多くなってきました。助けあい、支え合う地域づくりの一助となっています。

羽黒地域「緊急連絡カード」



＜緊急連絡カード＞



＜電話のある所に掲げます＞

羽黒福祉センターでは、民生児童委員の協力を得ながら「緊急連絡カード」を413名の方に配布しました。その後、鶴岡市消防署羽黒分署・羽黒区長会・鶴岡警察署等の関係機関と「地域支え合い体制支援会議」を開催し、緊急時の対応や地域で支え合うことができる仕組みづくりについて話し合いを行いました。席上、カードが実際に使用された報告もありました。

じぶんの町を良くするしくみ。



共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)に

ご協力よろしくお願いします！

今年も10月1日から全国一斉に共同募金運動(赤い羽根・歳末たすけあい)が始まります。

赤い羽根募金は、山形県共同募金会を通じて、民間福祉施設、ボランティア活動や、市社協の地域福祉活動などに配分され、サロン活動や会食会など地域福祉推進のために役立てられます。

また、歳末たすけあい募金は、経済的に支援を必要とする世帯や児童養護施設の児童・生徒に義援金として配分される予定です。



高校生による街頭募金活動の様子

○運動期間 10月1日(月)～12月31日(月)

○戸別募金お願い額 500円

(赤い羽根と歳末たすけあいを合わせた額です)

共同募金は 地域福祉・ボランティア活動を 応援します。

対象者：社会福祉法人、民間組織団体、ボランティア団体

対象事業：平成25年度に行う事業で、先駆的な社会福祉活動及び活動立ち上げの支援

配分額：上限30万円(総事業費の4分の3の額)

申込み：平成24年10月26日(金)まで

問合せ：山形県共同募金会鶴岡市支会

(鶴岡市社会福祉協議会内) ☎24-0053

5つのまちがいさがし





鶴岡市社会福祉協議会

福祉のつどい

福祉のつどいは、鶴岡市社会福祉協議会の基本理念である「おだがいさまのまちづくり」を進めていくために、市社協が果たすべき役割とその活動を広く知っていただくと共に、地域住民・団体・関係者などの協働を呼びかける機会とするために開催しております。

日時

平成24年10月17日(水)

開 会/午後1時20分 (午後12時30分受付開始)

場 所

鶴岡市中央公民館



おだがいさまのまちづくり

～ご近所の力編～

あらすじ

鶴岡市のとあるご近所のお話。
お隣同士の2軒のお宅は、
世代が離れていたせいもあってか、
あいさつを交わす程度のお付き合い。
そんなある日、小さな事件が……
さて、いったい何が!?

講演『老い支度講座』

～老いの準備運動をはじめよう～

(財)長寿社会開発センター常務理事 石 黒 秀 喜 氏



1950年 北海道に生まれる。
1968年 国立函館視力障害センターに勤務。
2008年 厚生労働省を退職し、同年に(財)長寿社会開発センターに勤務。

認知症になった義母とその介護に当たる義父の生活に時折接することがあり、それがきっかけとなって老いることと認知症について強い関心を抱くようになる。

老いてどのような時間の使い方をして、どのような住まい方をして、どのような人生の閉じ方をするのか、「上手に老いるための自己点検ノート」を作って、“自己防衛のすすめ”を提唱している。

目

程

12:30 受 付 開 始

13:20 オープニング
もみじが丘利用者による発表
開 会 行 事

表 彰
福祉功労者へ感謝状等の贈呈
市社協の活動紹介[寸劇]
「おだがいさまのまちづくり」～ご近所の力編～
講 演
『老い支度講座～老いの準備運動をはじめよう～』

16:00 閉 会

※当日は、手話通訳・要約筆記がつきます。
※目の不自由な方で参加ご希望の方は、申込みの際に申し付けください。

福祉施設製品の展示&販売!!

当日は、会場ロビーにて障がい福祉施設の展示・販売を行います。
ぜひ、お立ち寄りください。

お申込み 9月28日(金)まで

最寄りの市社協福祉センターにお申込みください。

多数のご参加をお待ちしております!!

※駐車場が限られておりますので、乗り合わせ
でのご参加にご協力お願いいたします。

i 情報掲示板

「ホームヘルパー2級課程 養成研修平日コース」受講者募集

- 期 日 平成24年10月18日(木)～12月20日(木)
- 対象者 ヘルパーを志望され、健康で全課程に出席できる方
- 定 員 30名
- 会 場 鶴岡市中央公民館・地域福祉センターなえぶ
- 受講料 30,000円(別途 健康診断料負担)
- 申込み 9月25日(火)～10月1日(月)【土日祭日除く】
午前9時～午後5時
社会福祉協議会事務局または最寄りの福祉センターまで来所による申込み
- その他 説明会10月1日(月)午後6時から
場所:第三学区コミュニティセンター
※応募多数の場合は同日抽選により決定させていただきます
- 問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 事業推進課

第25回 赤い羽根共同募金 チャリティ社交ダンスパーティーの開催

鶴岡市をはじめ庄内一円の社交ダンスサークルが一堂に会し、チャリティダンスパーティーを開催します。

- 日 時 平成24年10月14日(日)
- 会 場 鶴岡市小真木原総合体育館 3階アリーナ
- 参加費 1,000円
- 主 催 チャリティダンスパーティー実行委員会
- 問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課



※参加費の一部は赤い羽根共同募金に寄付されます。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成24年6月21日から平成24年8月20日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

- ・鶴岡建設機親善ゴルフ大会 様 120,000円
- ・匿名 紙おむつ1袋、尿取りパット6袋、おしりふき1個
- ・柳長南牛肉店 様 復興支援ステッカー100枚

◎羽黒福祉センター

- ・羽黒町カラオケ同好会 様 100,000円
- ・匿名 4,500円
- ・齋藤幸子 様 本1冊

◎朝日福祉センター

- ・あさひ駐在所連絡協議会 様 10,850円

◎温海福祉センター

- ・五十嵐利右工門 様 100,000円

★鶴岡老人福祉センターへ

- ・菅原勘二 様 ハロゲンヒーター1台、扇風機1台
- ・鎌田康敬 様 将棋の本45冊

★高齢者福祉センターおおよまへ

- ・田中藤子雄 様 フロアセンサー
- ・高橋順子 様 オムツ類一式

★老人デイサービスセンターふれあいへ

- ・佐藤克子 様 オカリナ演奏CD1枚

★くしびきデイサービスセンターへ

- ・渋谷昭明 様 紙おむつ3袋、尿取りパット3袋、とろみ粉1箱

★くしびき保育園へ

- ・小林京子 様 鈴虫100匹

★震災等支援事業へ

- ・鶴岡市立京田小学校児童会 様 40,189円
- ・鶴岡室内合奏団 様 179,000円
- ・鶴岡ワシントンホテル 様 100,000円
- ・ワールドバザール実行委員会 様 11,000円

企業の地域貢献

先般の地域福祉委員会でのお話である。ある会社から高齢者世帯へ何かお手伝いをしたいと相談があった。話を聞くと、仕事上、同居していた若い世代が市内中心部へと引っ越し、高齢の親だけが残って生活を続けていく現状を多く見てきて、危機感を募らせたとのこと。そこで、インターネットで検索してみたところ、多くの企業が地域に密着した形で地域貢献に取り組んでいることを知り驚いた。内容は、イベント的なものから日常的に高齢者宅へ訪問する安否確認等さまざまであった。われわれ社協マンも、うかうかしてられない。地域福祉活動の裾野を広げるため、こういった「おもい」を大切にしていきたい。

(W)

ほっとコラム

東日本大震災 震災ボランティア登録受付中!! 申込み/問合せ 鶴岡市ボランティアセンター ☎23-2970

おだがいさま

第42号

平成24年9月15日発行

発行部数 49,500部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

柳引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。